

提案
19

提案
29

提案
32

ペット取引対象種

提案
19

附属書 II から附属書 I へ移行

ヨウム *Psittacus erithacus*



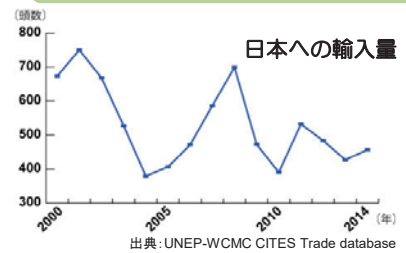
©Adriano ARGENIO / WWF-Italy

提案国：アンゴラ、チャド等9カ国による共同提案
背景：

地元での生体、肉、薬用の利用にも懸念がありますが、国際的なペット取引と生息地の消失が大きな影響を与えています。国際取引される多くは生息国外で飼育繁殖された個体ですが、生息域での野生個体の過剰な捕獲を防げていません。

日本との関係：愛好者が多く2014年には450羽が輸入されていますし、国内にブリーダーも存在します。

トラフィックの見解：提案を支持



提案
29

附属書 I へ掲載 ※現在未掲載

サイケデリック・ロックゲッコ
(俗称、ヤモリ亜科の1種)
Cnemaspis psychedelica

提案国：ベトナム、EU

背景：

生息域が極めて限定的（世界で2カ所のみ）で成熟個体数は200-240頭と推定されています。高い価格での取引が増加しており、特に2013年からオンライン取引が増えています。

日本との関係：専門ペットショップによるオンライン広告を確認しています。

トラフィックの見解：提案を支持

提案
32

附属書 I へ掲載 ※現在未掲載

ミナシオオトカゲ科
Lanthanotidae spp.



©T. Johnson

提案国：マレーシア

背景：

生息国では保護されており、輸出許可が出された記録はありませんが、2012年に日本人愛好家が再発見して以来、欧州、日本等での販売が増加しています。生息状況に関する情報が十分とは言えないものの、急増する取引圧への手当が必要です。

日本との関係：国内での繁殖成功が報告されています。年々販売するペットショップが増加しています。中には野生捕獲個体であることを匂わせる販売者もいます。

トラフィックの見解：提案を支持

提案
25

提案
26

提案
30

提案
33

提案
37

提案
38

提案
40

提案
25-26

キノボリアリゲータートカゲ属 *Abronia spp.* を附属書 I 及びIIへ掲載
1990年代から取引が増えています。日本での販売も確認されています。

トラフィックは提案を支持 ※但し、非生息国からの飼育繁殖個体輸出割当ゼロ提案を除く。

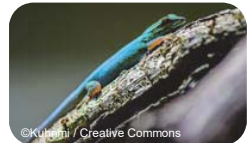


©Lauren Anderson / Creative Commons

提案
30

アオマルメヤモリ *Lygodactylus williamsi* を附属書 I へ掲載
日本での販売広告が確認されています。別種への偽装表示の問題も指摘されています。

トラフィックは提案を支持



©Kulom / Creative Commons

提案
33

シナワニトカゲ *Shinisaurus crocodilurus* を附属書IIから I へ移行
日本は1990年-2014年に生体200頭以上を輸入しています。すべて飼育繁殖個体とされていますが、由来の偽装も問題とされています。

トラフィックは提案を支持



©Lai Wagtail / Creative Commons

提案
37-38

アントンギルガエル(トマトガエル) *Dyscophus antongilii* を附属書 I からIIへ移行、
サビトマトガエル *Dyscophus guineti* とアミメトマトガエル *Dyscophus insularis* を附属書IIへ掲載
トマトガエル属3種は類似していて識別が困難です。日本でもサビトマトガエル及びアミメトマトガエルの販売広告が確認されています。

トラフィックは提案を支持

提案
40

チチカカミズガエル *Telmatobius culeus* を附属書 I へ掲載
日本のみペット需要があるとされています。
国際取引は主な脅威でなく、附属書掲載の保全効果も不明

トラフィックは提案に反対



©Joshua Stone / Creative Commons

日本のペットショップに行けば世界の希少な爬虫類がみられる、とされています。